

「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録に向けた兵庫県の取組について(令和5年度)

1 学術調査

(1) 鳴門海峡の渦潮世界遺産登録学術調査委員会

① 第11回委員会(令和6年2月15日開催予定)

令和5年度の学術調査結果について報告するとともに、今後の学術調査の方向性について検討を行う。

(2) 国内調査

① 鳴門海峡の地形成立過程、地史に関する調査及び分析

現在見られる鳴門の渦潮の発生過程を明らかにするため、約6～8千年前の縄文海進最盛期における相対的海水準を記録した海成堆積物を採取できる可能性が高い鳴門市瀬戸町大島田地区と中島田地区において、人力によるボーリング掘削を行い、海成堆積物の有無やその分布深度を分析中。



図1 鳴門市瀬戸町大島田・中島田地区の人力ボーリング掘削候補地区
左図の①・②が大島田地区の候補地点範囲で、右図の③が中島田地区の候補地点範囲

② 景観に関する調査及び分析

鳴門海峡の渦潮の美的価値の証明や保存計画策定において重要と考えられる鳴門海峡の景観の本質的価値を証明するため、令和4年度に現地調査を実施した絵葉書に捉えられた景観とその視点場の現況写真における追加調査と比較分析を実施中。

(3) 海外類似資産調査

① ノルウェーとの連携

(ア) 9月にノルウェーへ渡航し、サルトストラウメンの渦潮の現地調査等を実施。サルトストラウメンの渦潮のドローン撮影・定点撮影に加え、ノード大学の研究者や現地行政関係者と世界遺産申請に向けての情報共有及び意思確認を行った。

(イ) 令和4年度に整理した海底地形データを用いたサルトストラウメンの渦潮の発生機構の解析を実施中。

② スコットランドとの連携

(ア) 10月にスコットランドへ渡航し、コリーヴレッカンの渦潮の現地調査等を実施。コリーヴレッカンの渦潮の現地観測に加え、スコットランドの研究機関であるSAMS（スコットランド海洋科学協会）の研究者と世界遺産申請に向けての情報共有及び意思確認を行った。

(イ) コリーヴレッカンの渦潮のドローン撮影について、10月の現地調査時に荒天のため撮影できなかったため、今後SAMSが実施予定。

(ウ) 協議会とSAMSとの研究協力に関するMOU（覚書）締結について、SAMSは内容に合意し、署名の予定。

(4) 世界遺産登録に向けた新たなアプローチの研究調査

① 世界遺産登録基準viiとviiiの両方を満たした世界自然遺産に係る調査研究vii（自然美）とviii（地形地質）の両方の基準を満たした61件の世界自然遺産のうち、viiとviiiの基準のみで登録された30件を中心に、世界自然遺産登録にあたり、viiとviiiの基準の組み合わせをどのように活用するのがよいかを調査中。

② 世界遺産登録基準viiとviiiの基準を満たした文化的景観に係る調査研究文化的景観として登録されている世界遺産のうち、vii（自然美）の基準を満たした7件、viii（地形地質）の基準も満たした4件について調査し、新たなアプローチとして文化的景観を活用する可能性について調査中。

2 普及啓発

(1) 渦潮ラッピングバスの運行

令和2年度から運行を開始した渦潮のラッピングバスを引き続き大阪・神戸～淡路島間で運行中。



【ラッピングバスデザイン】

(2) 普及啓発活動支援事業補助金制度

淡路島内及び鳴門市内に活動拠点を有する団体が、鳴門海峡の渦潮の世界遺産登録に向けた普及啓発活動を行う事業に対し、必要な経費の一部を助成する。

【令和5年度助成事業】

(ア)

「うず潮」の世界遺産登録をめざすパネル展

- ①助成対象者：NPO法人うず潮を世界遺産にする淡路島民の会
- ②開催日：令和5年4月24日（月）から令和5年8月31日（木）まで
- ③場所：淡路市立津名図書館
南あわじ市立図書館
洲本市立図書館
- ④参加者数：約10,600名
- ⑤内容：「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録の啓蒙及び推進活動のPRを行った。次世代の子どもたちに「鳴門海峡の渦潮」の価値、メカニズムを伝えた。

(イ)

第5回3海峡クリーンアップ大作戦

- ①助成対象者：3海峡クリーンアップ大作戦実行委員会
- ②開催日：令和5年11月4日（土）
- ③場所：紀淡海峡（洲本市生石海岸）
鳴門海峡（南あわじ市伊毘海岸、阿万海岸）
明石海峡（淡路市田ノ代海岸） ※鳴門市千鳥ヶ浜海岸でも実施
- ④参加者数：約1,900名
- ⑤内容：「鳴門海峡の渦潮」の発生に重要な役割を担う3海峡の景観を守るため、海岸清掃活動を行った。



鳴門海峡 南あわじ市阿那賀 伊毘海岸



鳴門海峡 南あわじ市阿万西町 阿万海岸



明石海峡 淡路市岩屋 田ノ代海岸



鳴門海峡 鳴門市鳴門町 千鳥ヶ浜海岸



紀淡海峡 洲本市由良町 生石海岸

2023年11月4日(土)に無事終了しました

【各会場の集合写真】

(3) その他PR活動・イベント等への出展

① 出展

日程	内容	場所
7月3日(月)～ 7月14日(金)	広報ショーウィンドー 「ひょうご情報ステーション」	神戸市営地下鉄 県庁前駅構内
10月26日(木)～ 10月29日(日)	ツーリズム EXPO ジャパン 2023 大阪・関西	インテックス大阪
12月25日(月)～ 1月10日(水)	うず潮を世界遺産へ 子ども絵画コンクール	淡路信用金庫 本店別館

② 広報誌

- ・ 県民だよりひょうご 12月号掲載
- ・ 観光施設におけるPR等
- ・ パンフレットの改訂・増刷
- ・ わお！マップへの広告掲載(淡路ハイウェイオアシス、宝塚北SA、海老名SA、岡崎SA、津田の松原SA等で配布)

未来へ受け継ぐふるさと淡路

美しい海岸線と緑豊かな自然に恵まれた淡路島の景観を守るための取り組みを推進しています。

「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産登録に向けて

世界に誇る「鳴門海峡の渦潮」。現在、世界遺産登録を目指し、普遍的な価値を明らかにする学術調査、海外の渦潮との連携や普及啓発を進めています。世界遺産登録に向け、協力して世界遺産にふさわしい美しい自然環境を未来へ受け継いでいくことが求められています。このため、島民の皆さんが中心となって、渦潮の発生と密接に関連する3海峡(鳴門、明石、紀淡)での清掃活動が実施されています。

「鳴門海峡の渦潮」のことをもっと知り、清掃活動への参加やふるさと納税での応援をよろしくお願いします。

ふるさとひょうご寄付金

兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会(淡路県民局交流渦潮課)
0799-26-2085 0799-24-6934 鳴門の渦潮 世界遺産登録推進協議会

3海峡クリーンアップ大作戦 うず潮 淡路島民の会

淡路地域ビジョンの5つの目標

- 目標1 持続可能な暮らしと環境の島
- 目標2 食とエネルギーを生み出す島
- 目標3 産業や実業から生き残る島
- 目標4 観光客や移住者と共に発展する島
- 目標5 全ての人が誇りを持って生きる島

③ チラシ

- ・ 東京淡路会、東京兵庫県人会総会、日本遺産フェスティバル in 八王子で配布
- ・ その他関係施設等での配架

3 今後の世界遺産登録の方向性(登録に向けたアプローチ)の検討(徳島・兵庫県合同) 有識者等を委員とする「兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録検討会議」を令和5年9月29日付で設置し、今後の世界遺産登録の方向性の検討を進めている。

第1回検討会議

- (1)開催日：令和6年1月23日
- (2)場 所：神戸市内
- (3)内 容：学術調査の現状分析と評価